

# ベース・レジストリの コンセプト（案）

令和3年10月25日 データ戦略推進WG第1回

デジタル庁

# デジタル社会の目指すビジョン

デジタル社会の目指す  
ビジョン

デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合った  
サービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会

～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～

ライフイベントに係る手続の  
自動化・ワンストップ化

官民の提供するライフイベントに係る手続やサービスについて、**スマホでワンストップ**で行うことができる。

出生、就学、子育て、介護などのライフステージに合わせて必要となる手続について、時間軸に沿った**最適なタイミングでプッシュ型の通知**が受けられる。

データ資源を活用して、  
一人一人に合ったサービスを

散在する健診情報、既往症、薬歴、日々のバイタル情報等の安全・安心な連携・活用により、いつでもどこでも、**一人一人の状況に合った健康・医療・福祉サービス**が受けられる。

リアルタイムの移動ニーズ、鉄道・バスの運行状況、カーシェアの空き状況等の連携により、**ストレスなく移動**できる

いつでもどこでも  
自らの選択で社会に参画

子育てや介護に適した豊かな自然環境に恵まれた場所に暮らしながら、通勤することなく**デジタル空間で仕事**ができる。

自宅に居ながら、世界中の優れた教育機関の**教育プログラムの受講**や、**文化・芸術コンテンツ**を体感・創作・発信することができる。

# 包括的データ戦略の概要 (令和3年6月18日 閣議決定)

■ 2020年末にデータ戦略タスクフォースとりまとめで示された課題について実装に向けた検討項目を整理

**ビジョン** 現実空間とサイバー空間が高度に融合したシステム（デジタルツイン）により、新たな価値を創出する人間中心の社会

データ戦略のアーキテクチャ		第一次取りまとめ	包括的データ戦略 検討項目					
人材・セキュリティ	戦略・政策	データ戦略の理念とデータ活用の原則の提唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ活用原則 (①データがつながり、使える、②勝手に使われない、安心して使える、③みんなで協力する)</li> <li>行政における<b>データ行動原則の構築</b> ①データに基づく行政(文化の醸成)、②データエコシステムの構築、③データの最大限の利活用</li> <li><b>プラットフォームとしての行政が持つべき機能</b></li> </ul>					
	組織 { 行政 民間 }	社会実装・業務改革 デジタルツインの視点でビジネスプロセスの見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル庁の策定する情報システムの整備方針にデータ戦略を反映</li> </ul>					
	ルール { データガバナンス 連携ルール }	トラストの枠組み整備 トラストの要素（意思表示の証明、発行元証明、存在証明）を整理	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>トラスト基盤の構築（認定スキームの創設）</b> 【デジタル庁を中心として関係省庁が協力して、2020年代早期の実装を目指す】</li> <li>トラスト基盤構築に向けた論点整理 (トラスト基盤の創設[各プレイヤーの役割の明確化]、認定基準、国際的な相互承認 等)</li> </ul>					
	連携基盤 (ツール)	プラットフォームの整備 分野共通ルールの整理 分野毎のプラットフォームにおける検討すべき項目の洗い出し (官民検討の場、ルール、ツール等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ連携に必要な<b>共通ルール</b>の具体化、<b>ツール開発</b></li> <li>データ流通を促進・阻害要因を払拭するためのルールの整理 (意図しないデータ流通・利用防止のための仕組みの導入/ロックイン防止 等) 【デジタル庁と知財本部事務局は、2021年末までにガイドライン策定】</li> <li><b>重点的に取組むべき分野(健康・医療・介護、教育、防災等)のプラットフォーム構築</b> 【関係省庁はデジタル庁と協力して、2025年までに実装を目指す】</li> <li><b>データ取引市場のコンセプトの提示</b></li> </ul>					
	データ	ベース・レジストリの整備 オープンデータ データマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>ベース・レジストリの指定</b> (法人3情報、地図情報、法律・政令・省令、支援制度 等)</li> <li>ベース・レジストリの整備に向けた課題の抽出と解決の方向性の検討 【デジタル庁と関係省庁は協力して、2025年までの実装を目指す】</li> <li>データマネジメントの強化/オープンデータの推進</li> </ul>					
	利活用環境	引き続き検討すべき事項 データ利活用の環境整備 民間保有データの活用の在り方	<table border="1"> <tr> <td>デジタルインフラ</td> <td>・通信インフラ (Beyond 5G) (2025年大阪・関西万博にて成果提示)、計算インフラ (富岳等コンピューティングリソースの民間利用)、半導体産業基盤の強化、データ取扱いのルール等の一体的整備</td> </tr> <tr> <td>人材・組織</td> <td>・データ戦略に必要な人材像、データ整備・AI活用を含むデータ戦略責任者の設置</td> </tr> <tr> <td>セキュリティ</td> <td>・セキュリティバイデザインの推進、安全安心なサイバー空間の利用環境の構築</td> </tr> </table>	デジタルインフラ	・通信インフラ (Beyond 5G) (2025年大阪・関西万博にて成果提示)、計算インフラ (富岳等コンピューティングリソースの民間利用)、半導体産業基盤の強化、データ取扱いのルール等の一体的整備	人材・組織	・データ戦略に必要な人材像、データ整備・AI活用を含むデータ戦略責任者の設置	セキュリティ
デジタルインフラ	・通信インフラ (Beyond 5G) (2025年大阪・関西万博にて成果提示)、計算インフラ (富岳等コンピューティングリソースの民間利用)、半導体産業基盤の強化、データ取扱いのルール等の一体的整備							
人材・組織	・データ戦略に必要な人材像、データ整備・AI活用を含むデータ戦略責任者の設置							
セキュリティ	・セキュリティバイデザインの推進、安全安心なサイバー空間の利用環境の構築							
インフラ	人材/国際連携/インフラ	<table border="1"> <tr> <td>国際展開</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>理念を共有する国との連携や様々なフォーラムにおける<b>DFFTの推進</b> (貿易、プライバシー、セキュリティ、トラスト基盤、データ利活用、次世代インフラ)</li> <li>G7 DFFTロードマップへのインプット【2023年G7日本会合を見据え成果を目指す】</li> </ul> </td> </tr> </table>	国際展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>理念を共有する国との連携や様々なフォーラムにおける<b>DFFTの推進</b> (貿易、プライバシー、セキュリティ、トラスト基盤、データ利活用、次世代インフラ)</li> <li>G7 DFFTロードマップへのインプット【2023年G7日本会合を見据え成果を目指す】</li> </ul>				
国際展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>理念を共有する国との連携や様々なフォーラムにおける<b>DFFTの推進</b> (貿易、プライバシー、セキュリティ、トラスト基盤、データ利活用、次世代インフラ)</li> <li>G7 DFFTロードマップへのインプット【2023年G7日本会合を見据え成果を目指す】</li> </ul>							

# ベース・レジストリで世界が変わる

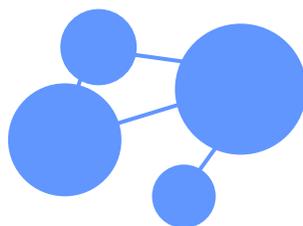
デジタル社会の形成に向けて、政府がリアルの世界で整備したデータをサイバー空間で整備し、横断的に行政サービスに活用開始

本格的なデジタル社会形成に向けて、政府と民間が保有するデータを互いにあらゆる場面で参照できるよう整備し、社会サービスをフルデジタル化

## フェーズ1

### ベース・レジストリが出来た世界

世界とデータが繋がり始める

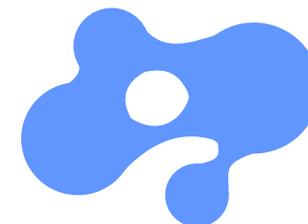


一部の行政サービスを公平・便利・効率的に

## フェーズ2

### ベース・レジストリが更に発展した世界

世界とデータが滑らかに繋がる



あらゆる行政・民間サービスをより公平・便利・効率的に

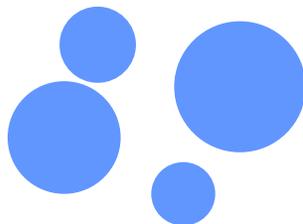
### ベース・レジストリを「共創」し「発展」へ

政府とユーザが共に創り、データに基づいて恩恵を受けるべきユーザに提供



### ベース・レジストリのない世界

世界とデータがバラバラで分断

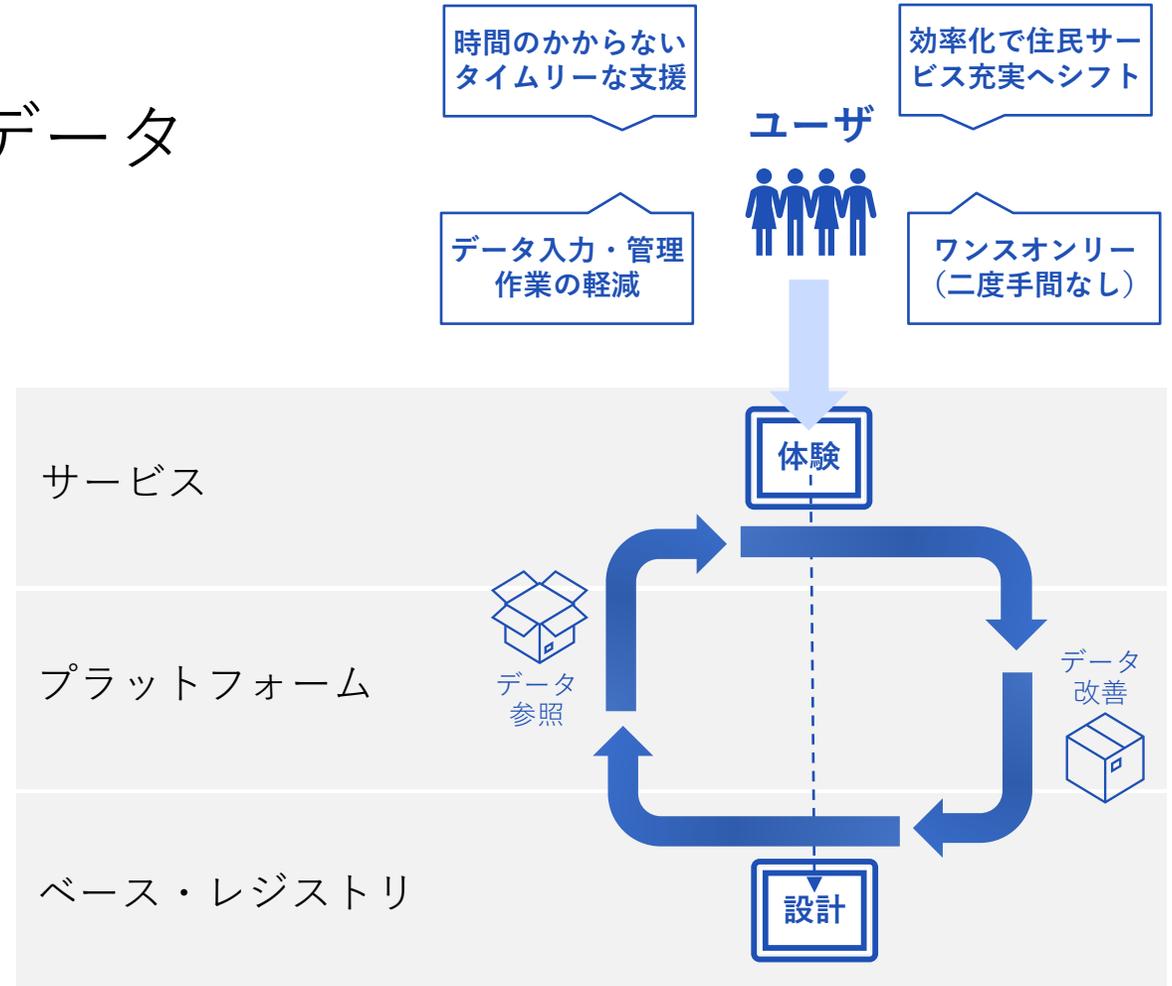


# 基本コンセプト

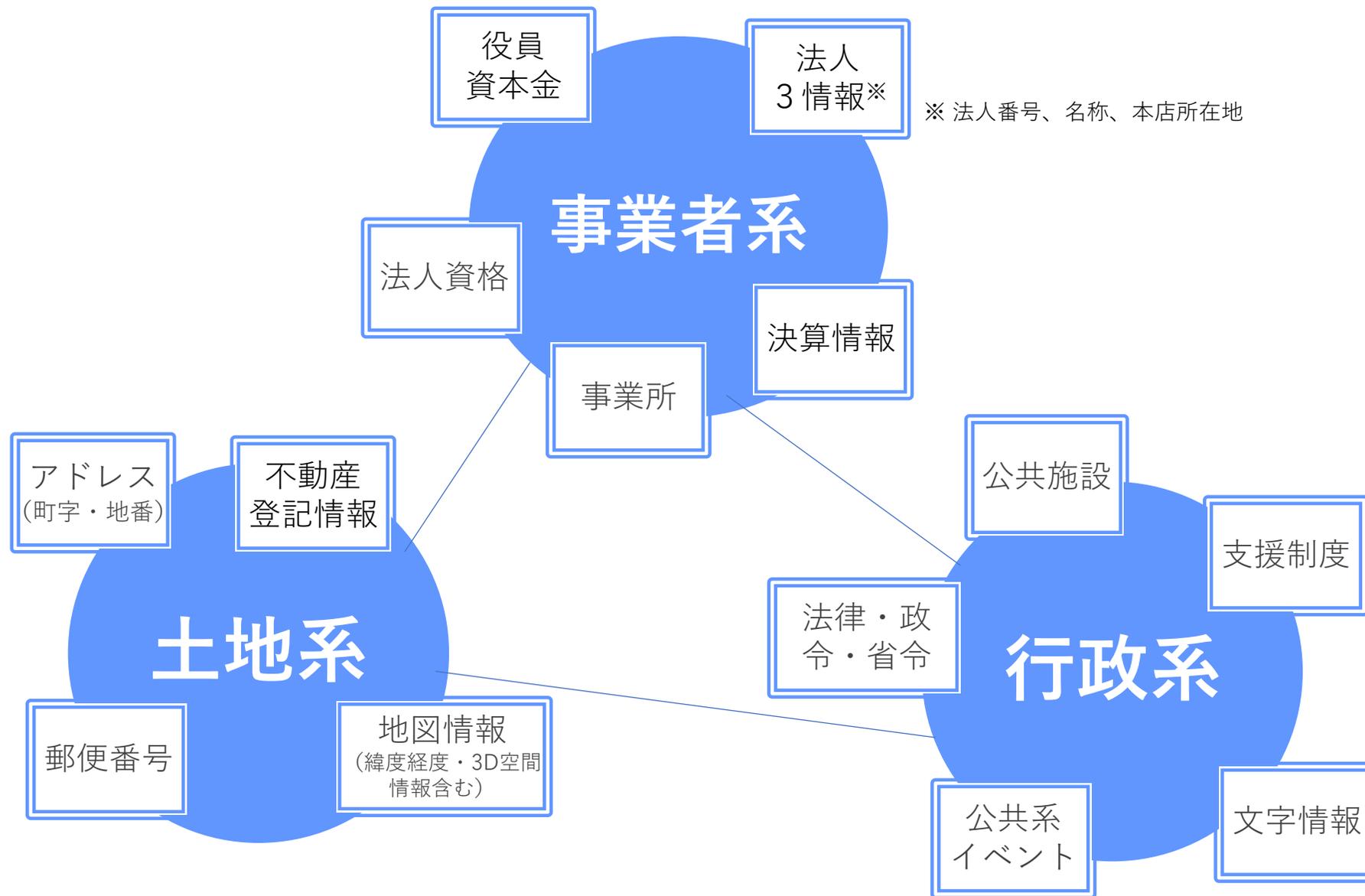
みんな  
使うたび、良くなる、公共のデータ

ベース・レジストリは、デジタル社会における、あらゆる活動のベースとなるデータを誰もが利用できる形で網羅的に整備

誰のためのベース・レジストリなのか、ユーザベースで考え、体験する価値を逆算してデザイン



# 当面整備するデータ分野

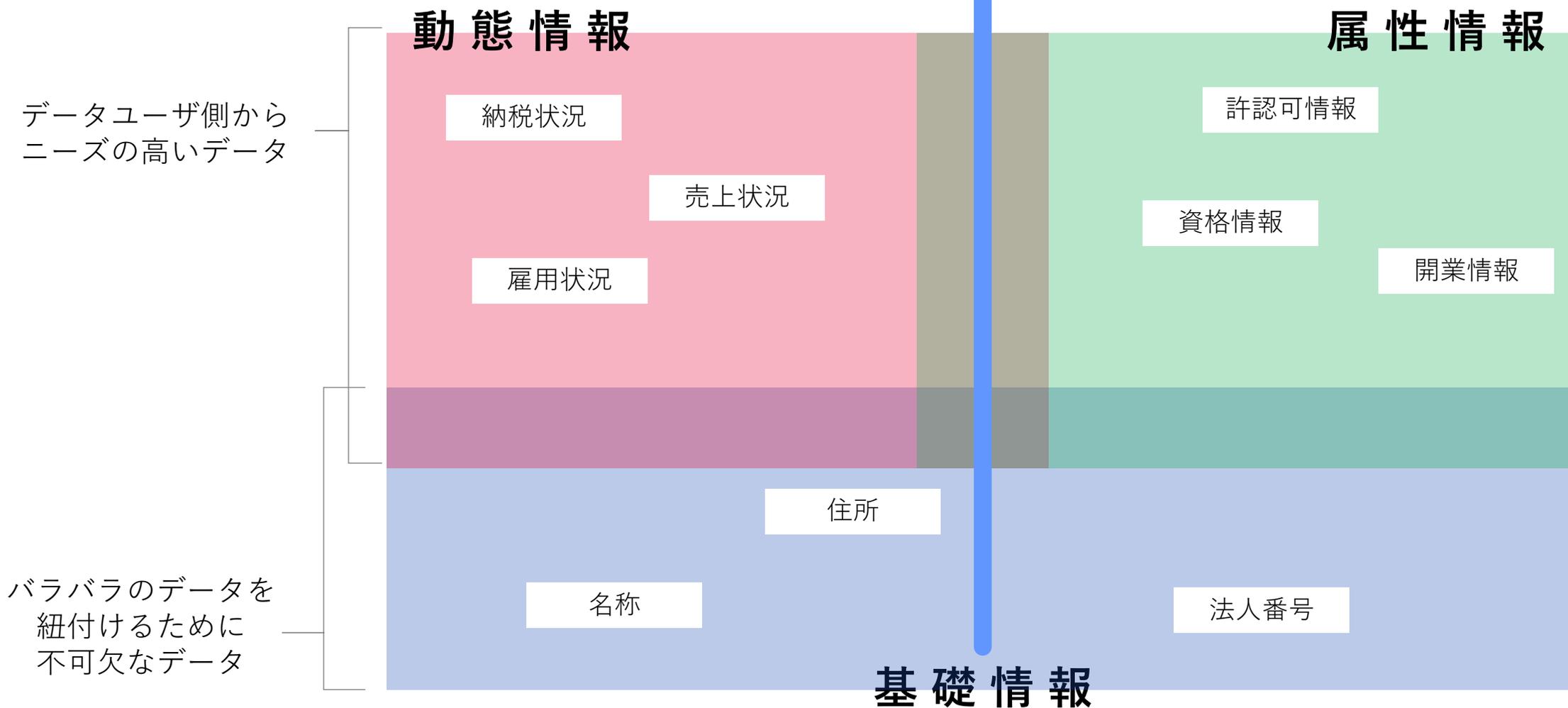


個人情報については、「マイナンバー制度及び国と地方のデジタル基盤抜本改善ワーキンググループ」を受け、マイナンバー等を利用した情報連携の拡大に向けた検討を進める

# データとユースケース

解決すべき課題 | ユースケース

〔事業者向け補助金手続等を例として、関係データ列記〕



# ベース・レジストリを通じた価値実現

## 事業者系

### フェーズ1 | 当面

識別番号体系の整理・方針決定のほか、データ係に関するルール・システム整備を開始

### フェーズ2 | To Be

- 行政手続に各種添付書類が不要→スマホのみで申請可能に
- 民間事業者の取引コスト、事業コストが軽減し、新たな事業創出も

## 土地系

### フェーズ1 | 当面

アドレス情報（町字・地番）や緯度経度情報を正確に収集・公開するプロトタイプ構築。配送先等の住所記載誤りによるムダ防止

### フェーズ2 | To Be

- 事業者が自社システムに正確な住所情報を反映するとともに、緯度・経度情報や3次元空間情報を活用することで、配送デジタル化、防災の高度化、モビリティ等での新たなサービスの創出へ
- ポリゴン等の地理空間情報とアドレス情報が紐付くことにより、現有台帳間連携や更新が容易に

## 行政系

### フェーズ1 | 当面

政府の支援制度・公共施設・イベント情報の一部ワンストップ化を開始

### フェーズ2 | To Be

- 官報等のデータ活用により、リアルタイムで正確な法令データを公開
- 全ての行政機関が主催・後援するイベント情報のほか、支援制度・公共施設情報がワンストップに